

小金丸麻子（こがねまるあさこ）

活動地域：大分県臼杵市 支援可能な地域：全国

現在の所属（役職）：うすきツーリズム活性化協議会 事務局

アドバイザー可能な分野

移住・定住促進、観光振興・交流事業

地域での活動

①グリーンツーリズムの事務局業務支援

大分県臼杵市では約 14 年前から民間団体主導でグリーンツーリズムを推進しており、利用者数は毎年増加しています。業務が多様化してきた半面、事務局を担っている方々が高齢となってきたため、着任当初から事務局業務のお手伝いを行ってきました。主な内容は、以下の通りです。

データ整理・情報発信ツール整備（HP、Facebook、Twitter）・窓口業務・会員さんたちの活動時のサポート・特産品（うすき 100 年弁当）の開発販売サポート

着任前までは HP も子どもたちが田舎での体験を楽しむようなビジュアルであったため、一般のお客さんはほぼおりませんでした。HP の全面リニューアルによって、これまでの顧客層とは違った方々に情報が届くようになり、年間十数組の一般観光客も利用するようになりました。また、通常は事務所不在のことも多いため、現在は事務所の電話を私の携帯電話に転送にしており、基本的にいつでも問い合わせ対応できるようにするなど、来てくださる方々に寄り添った事務局体制作りを行っています。

② 移 住 定 住 支 援

臼杵市では 2015 年から本格的に移住定住施策をスタートしました。移住定住は行政・民間・地域が連携して取り組むことでより良い効果が生まれると考えているので、協議会は地域のつなぎ役として関わっています。主な支援は移住希望者向けのモニターツアー一時における業務で、2014 年は年 1 回、2015 年は年 4 回モニターツアーを開催しました。2016 年は年 3 回開催予定です。

モニターツアーは臼杵市役所からの業務委託を受けて行っており、広報企画・運営実施を担当しております。
これまでの参加者は 29 組 56 名でその内、7 組 16 名が臼杵市へ移住しました。(2016 年 12 月 現 在)
モニターツアーではツーリズムの要素の重要度が高いため、今後も随意契約として、業務委託を受けながら、協議会として取り組んでいく予定です。

- ③ 着 地 型 観 光 プ ロ グ ラ ム の 推 進
2016 年 4 月から「種まく暮らし」というワークショッププログラムをスタートしました。従来の観光資源が少ない地域に人を呼び込むため、またここに住む人々がこれまでの日々の生活で身に着けてきた技や知恵を伝え残していくため、人が集まることでその地域の価値を改めて見つめなおし魅力を再発見する、など様々な要素と想いを込めた企画です。月に 1 回のペースで開催しています。広報は HP と Facebook のみで行っており、本当に興味のある方々に参加していただき、質の高いプログラムを提供できるよう推進中です。種まく暮らし HP はこちら→<http://usukinotsu2013.wixsite.com/tanemaku>

- ④ コ ラ ボ 企 画 『 O O × グ リ ー ン ツ ー リ ズ ム 』
約 14 年間グリーンツーリズムを推進している地域ですが、着任当時はグリーンツーリズムを知る地域の方々に限られており、「子どもたちに農業体験を提供する」取り組みと想っている方々がとても多く、地域内の連携もあまり進んでいませんでした。もちろん子どもたち向けに活動も行っていますが、グリーンツーリズムの可能性はそれだけではなく、多様な取り組みを出来る土台を持ち合わせています。そこで着任後から継続して地域内連携の企画として、コラボ企画を推進しています。主な企画は下記の通りです。

『 地 引 網 × グ リ ー ン ツ ー リ ズ ム 』
臼杵は海に面している地域ですが、グリーンツーリズムとの関わりはあまり進んでいません。そこで地域間交流の推進として、共同企画で地引網を行いました。2 年連続で開催し、2015 年は 136 名（市外 102 名、市内 34 名）の方々にご参加いただきました。地域間でお互いを知るきっかけになるとともに、市外の方に臼杵を多面的に紹介することが出来ました。

『 蓮 ま つ り × グ リ ー ン ツ ー リ ズ ム 』
観光名所の国宝臼杵石仏付近で毎年夏に行われている蓮まつりは蓮の開花に合わせて朝 6:00 から行われているイベントです。朝が早いため遠方の方々は前日から臼杵に泊まれないと参加することができません。それなら、臼杵のことをより深く知ってもらえる農村民泊に泊まっていただき、夕食に蓮を使った料理を提供し、翌朝はお祭り会場に行っ

てもらい、蓮を“食べて、見て、感じて”楽しんでいただくということで企画しています。参加者数は下記の通り年々増加傾向にあり、コラボ企画の中でも主流となっています。

≪ 参 加 者 数 ≫

2014年4組13名 2015年9組17名 2016年10組22名

◎個人的な取り組み

① 地域おこし協力隊九州サミット 実行委員

2016年9月14～16日に行われるサミットの実行委員として、企画段階から関わっており、当日はコーディネータとして「地域や行政との関わり」を担当します。実行委員会は基本的に地域おこし協力隊 OBOG で構成されており、現役隊員も数名関わっています。このような場で関わっていくことで、九州内の地域おこし協力隊とのネットワークを形成することができ、今後事業を行う時などに協力出来る関係作りを行っています。

② 九州ツーリズムコンソーシアム（仮称） 事務局長

九州各県でグリーンツーリズムやツーリズムに長年関わっている方々が10～15名集まって、今後のツーリズムの方向性について話し合う会議や集まりの際に、事務局のサポートを行っています。毎年九州内で行われている「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム」の企画会議の場にもなっており、2016年は臼杵市でインバウンドをテーマとした分科会を行う予定のため、シンポジウムの開催事務局を担当します。

◎事例発表・講演 経歴

2015年3月10日 和歌山県和歌山市にて活動紹介

「平成26年度都市住民ボランティア援農体制モデル事業にかかる
意見交換会」主催：一般社団法人和歌山県社会経済研究所
テーマ「地域における取り組みを通じて」

2015年9月7日 大分県臼杵市にて事例発表

「平成27年度ツーリズム大学第四回講座」主催：大分県
テーマ「OBの活動発表」

2015年11月28日 兵庫県神戸市にて活動報告

「第二回地域おこし協力隊全国サミット in 兵庫」主催：総務省
<http://www.chiikiokoshitai.jp/report/hyogo/>

2016年3月18日 福岡県糸島市にて講演

「糸島地域体験型観光の担い手“つながる”プロジェクト」
主催：糸島市、福岡県
テーマ「地域内連携から生まれる魅力」

2016年8月27日 大分県日田市にてパネルディスカッション登壇

「第30回全国自治体学会 おんせん県おおいた日田大会」

主催：自治体学会

テーマ「分科会8 地方創生（ちいきづくり）と外部人材との連携」

自己PR 得意分野やアドバイザーの抱負

私は臼杵に着任する以前にもグリーンツーリズムの関係の業務を行っていて、九州内のグリーンツーリズム関係者のネットワークを持っています。グリーンツーリズム関係者は地域づくりにも主力として関わっており、九州内の地域活性化に数十年前から取り組んでいます。今後、地域おこし協力隊が活動を行うにあたって、ツーリズムは大きな要素の1つであると考えているため、九州内のネットワークを活用したサポートが出来ると考えています。

また、現役協力隊から地域や行政との関わりで悩みを持つ声を多く聞きます。幸いなことに、私が着任してから現在に至るまで、臼杵市役所や地域の方々と良好な関係で活動を行うことができています。この経験をもとに、今後協力隊を活用しようとしている自治体や地域、現在すでに配属されているけれども地域や行政との関わりについて悩んでいる協力隊のサポートが出来きるよう頑張りたいと思います。

どのようなサポートを行うにしても、これまで培ってきた人との繋がりを活かして、活動を行います。